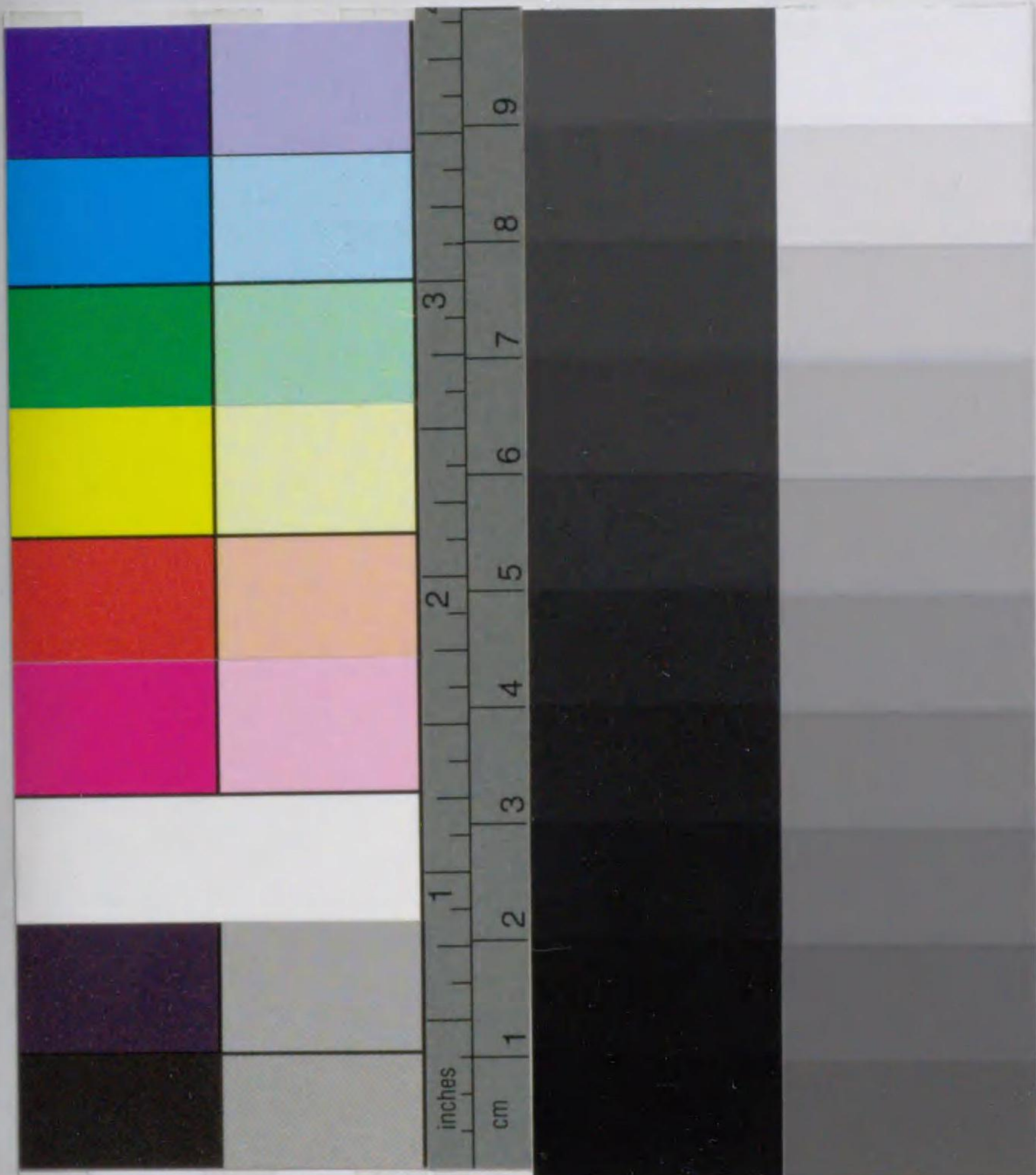


白物見用

199
418

199-418
1200800009871



名物を知る自由が
あり

大福帳

大福帳

大福帳

林蝶

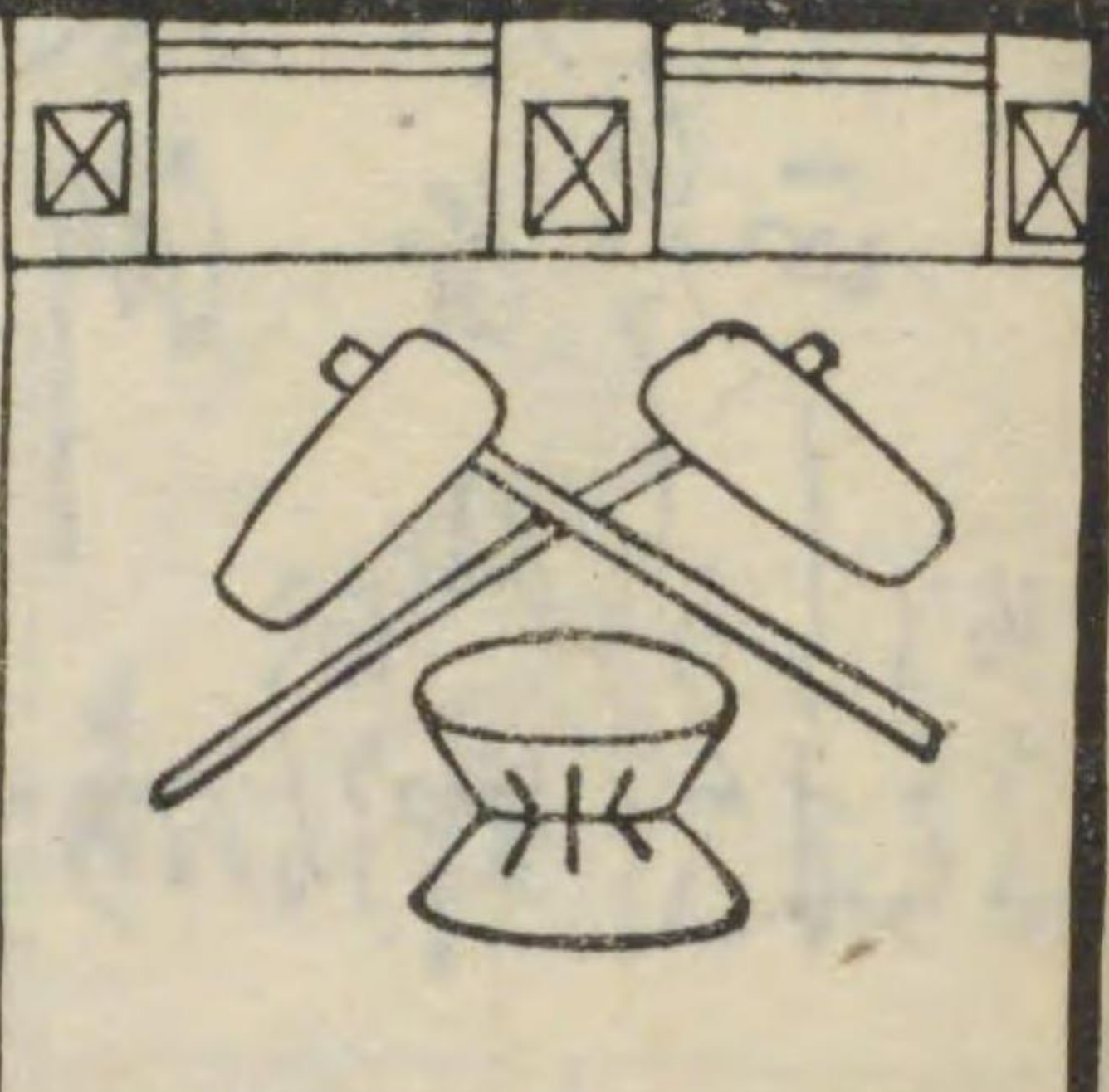
大正
13. 6. 6
内交

序

薩摩の豪族曰く耶江をなす妻と其角が
 口号あり又その角に長身食をたると大面
 取にを事者減り生涯を致業といふ道あり
 忽ち其相伝の号は女一これ大都會あり
 死をば江戸の女は妻昔いとに足重松の
 千葉と押きて壽き勝る八百可ぬ物此
 得意色りと麻と下乃折を二叩く二の毛始ハ
 美手代々衣紋と揃ふ家の娘の何と見せ方
 たらん好く西替町北四角中央の女は事
 してはの音を聴きたる神田合大魚のひきの



い 金 竹 和 兩
 く せ 法 津 和 兩
小のちのち そのちのち あつた あつた あつた



志記 そんごのト 白 うき 坂 うき 坂
 か 野 うき 坂 うき 坂 うき 坂 うき 坂 うき 坂
 千 うき 坂 うき 坂 うき 坂 うき 坂 うき 坂
 長 うき 坂 うき 坂 うき 坂 うき 坂 うき 坂
 児 うき 坂 うき 坂 うき 坂 うき 坂 うき 坂
 井 うき 坂 うき 坂 うき 坂 うき 坂 うき 坂
 世 うき 坂 うき 坂 うき 坂 うき 坂 うき 坂
 如 うき 坂 うき 坂 うき 坂 うき 坂 うき 坂
 志 うき 坂 うき 坂 うき 坂 うき 坂 うき 坂
 月 うき 坂 うき 坂 うき 坂 うき 坂 うき 坂
 中 うき 坂 うき 坂 うき 坂 うき 坂 うき 坂
 竹 うき 坂 うき 坂 うき 坂 うき 坂 うき 坂
 の うき 坂 うき 坂 うき 坂 うき 坂 うき 坂
 川 うき 坂 うき 坂 うき 坂 うき 坂 うき 坂

大らるるやあふ

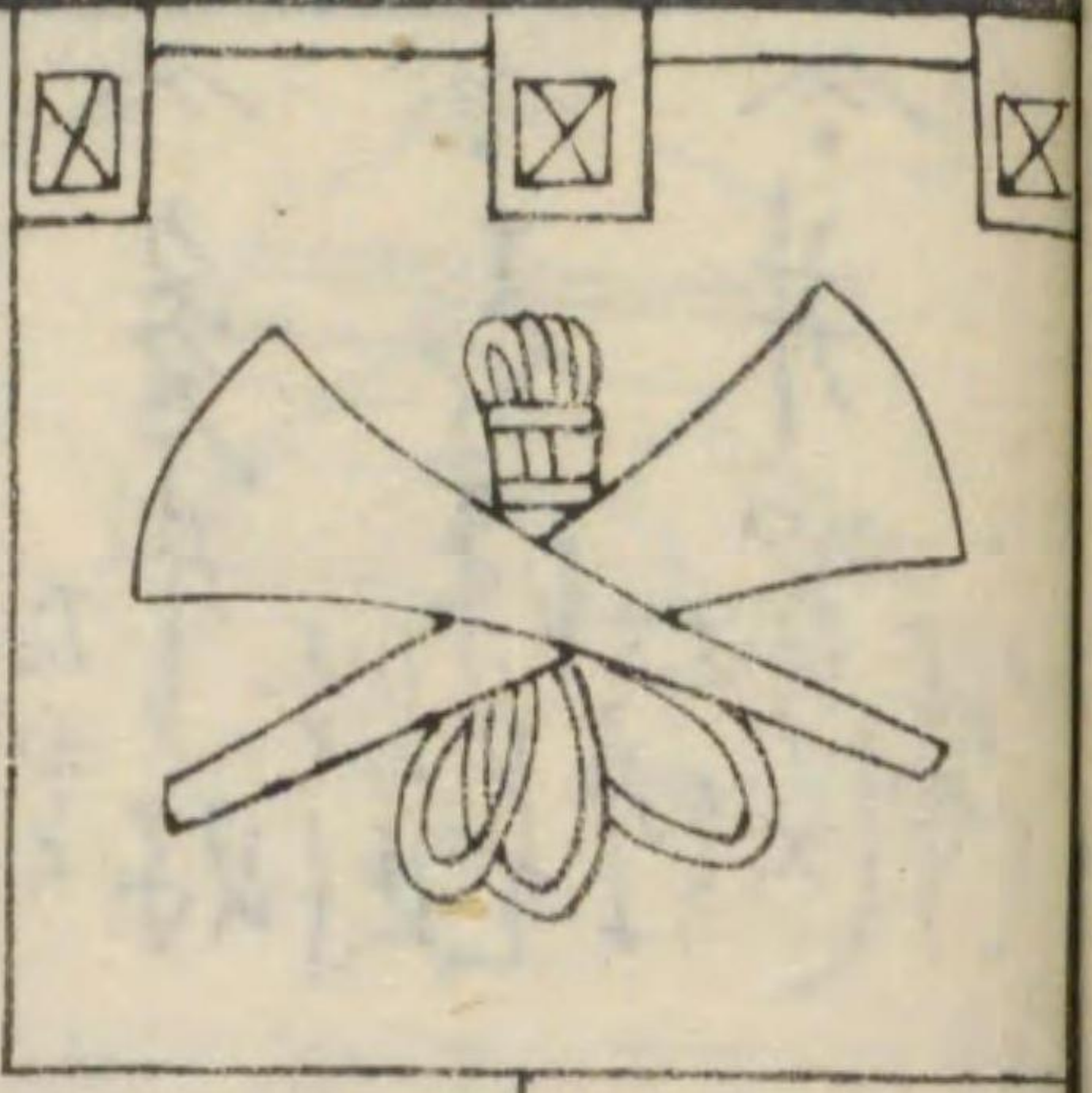
香 江 城 芝
 女 犯 金 井
はら はら はら はら



清 安 代 連 美 位 富 江 香
 井 井 井 井 井 井 井 井
 田 代 山 山 山 山 山 山
 初 初 初 初 初 初 初 初
 中 中 中 中 中 中 中 中
 初 初 初 初 初 初 初 初

小ぶりのあふ

真 浦 子 小 保
まこと うちら こと せう



堂 山 淵 小 堂
どう やま ぶち せう どう

二八
にやち

八 山 代 角 志 山 厚
やち やま しろ かく し さん こう

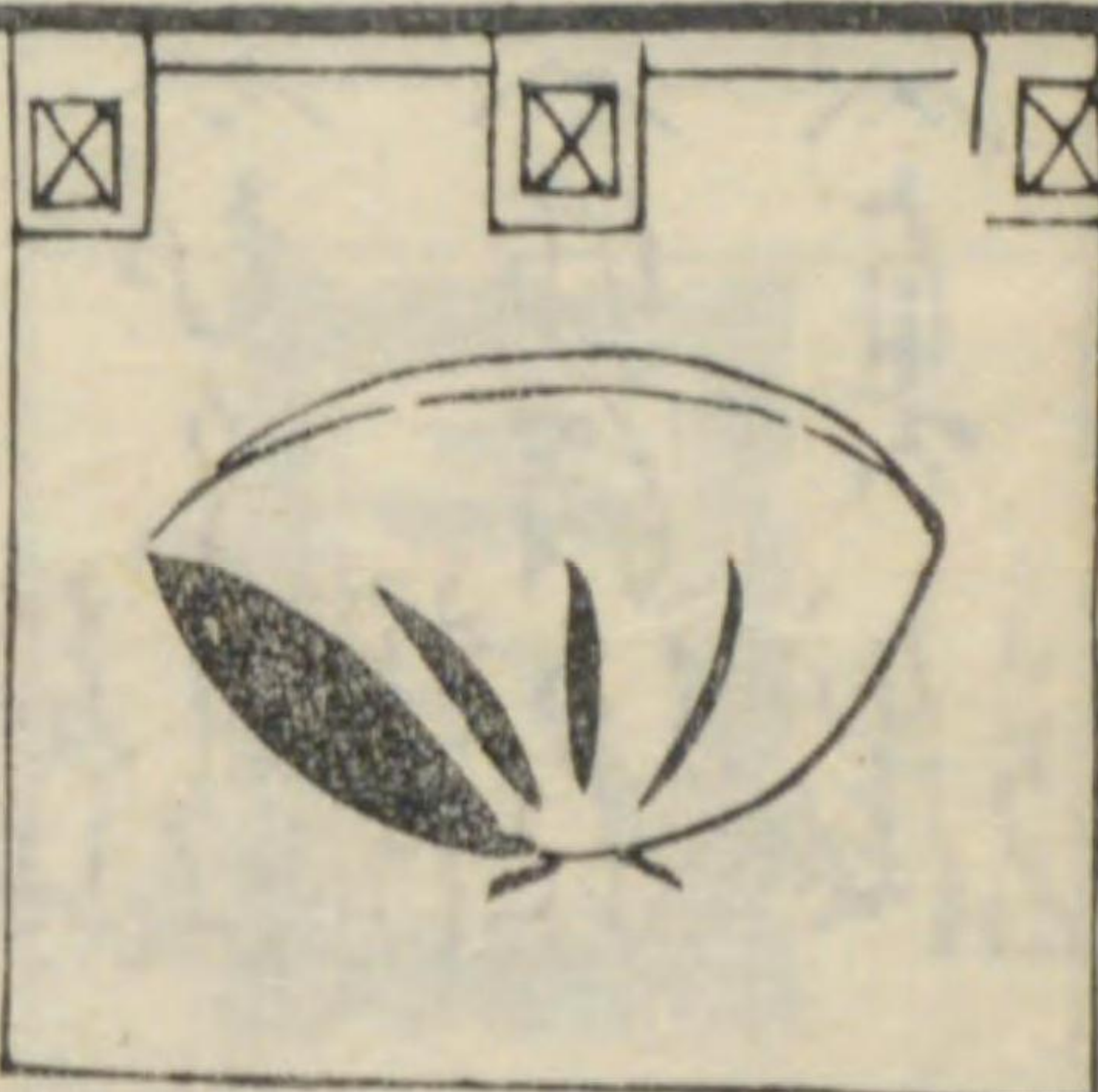
大 清 山 堂
だいせいざんどう

山 尾 尾 山 山 山
さん び び さん さん さん

額 二八
がく にやち

中 小 小
なかつ こ せう

山 山 山 山 山
さん さん さん さん さん



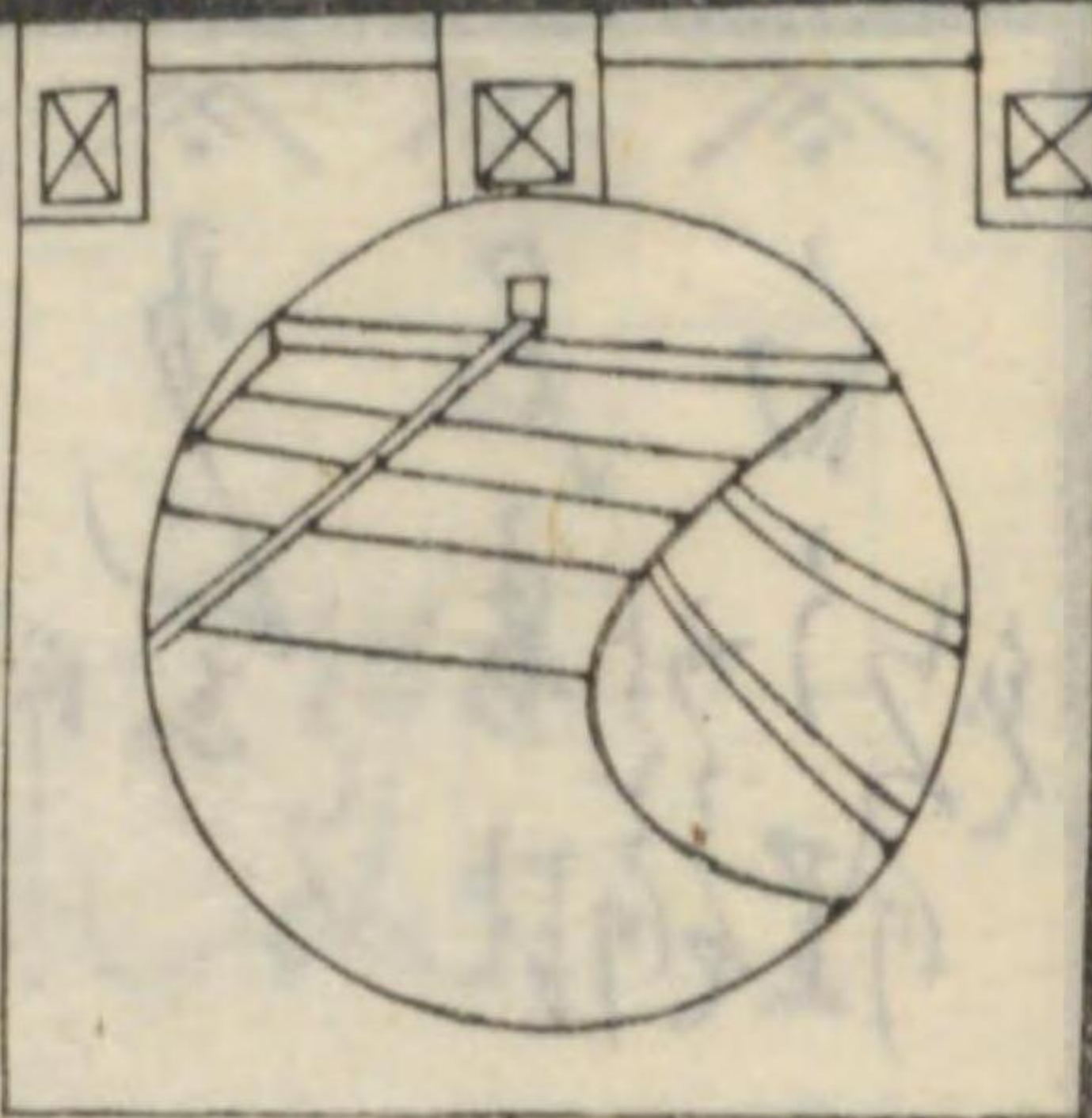
井 多 多 多 多
井 多 多 多 多
井 多 多 多 多
井 多 多 多 多
井 多 多 多 多

よき井の長吉

多 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名
多 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名
多 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名
多 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名
多 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名

市 津 津 津 津 津 津 津 津 津 津
市 津 津 津 津 津 津 津 津 津 津
市 津 津 津 津 津 津 津 津 津 津
市 津 津 津 津 津 津 津 津 津 津

中 中 中 中 中 中 中 中 中 中
中 中 中 中 中 中 中 中 中 中
中 中 中 中 中 中 中 中 中 中
中 中 中 中 中 中 中 中 中 中



井 井 井 井 井 井 井 井 井 井
井 井 井 井 井 井 井 井 井 井
井 井 井 井 井 井 井 井 井 井
井 井 井 井 井 井 井 井 井 井

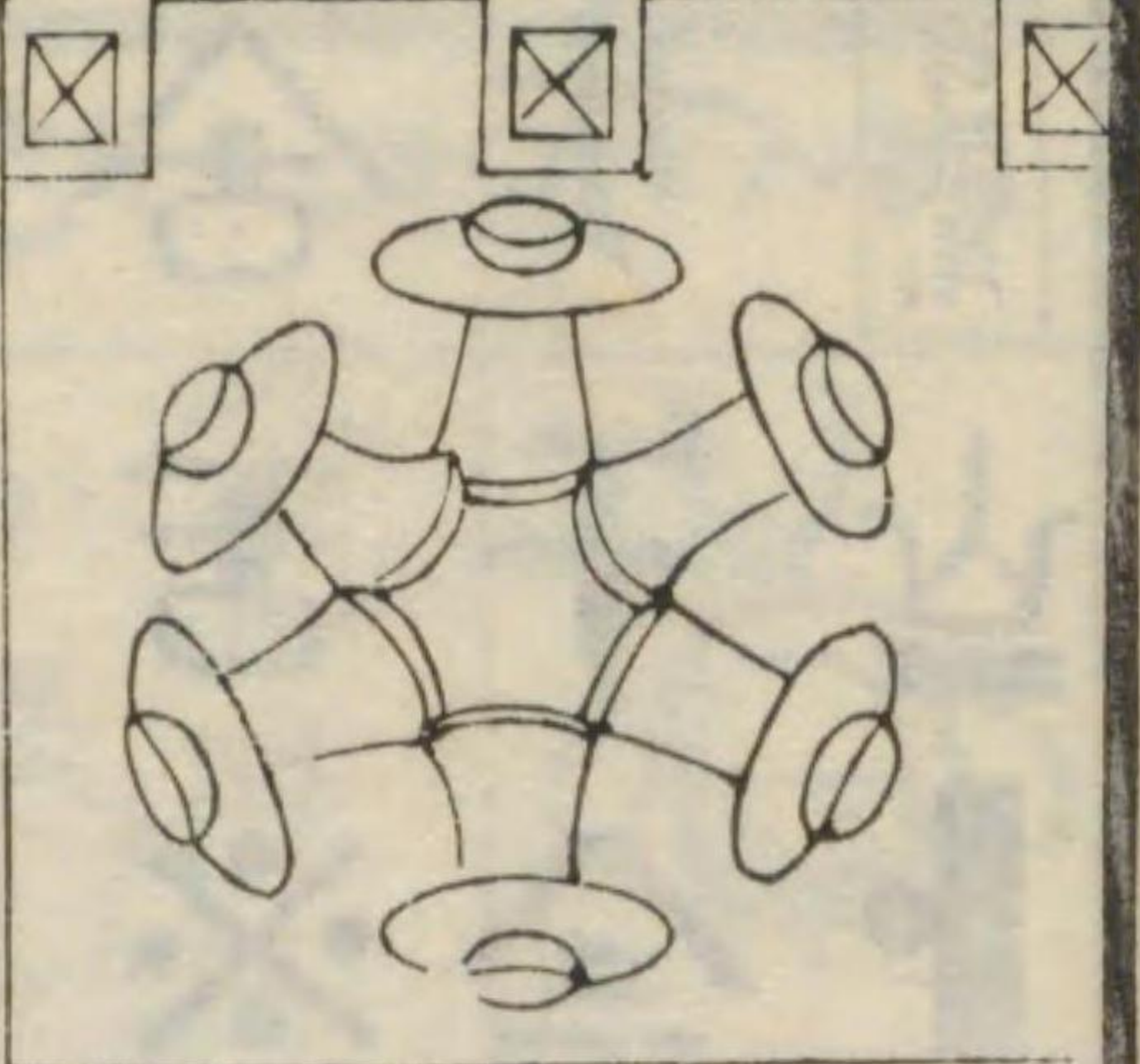
おろしや長吉

井 井 井 井 井 井 井 井 井 井
井 井 井 井 井 井 井 井 井 井
井 井 井 井 井 井 井 井 井 井
井 井 井 井 井 井 井 井 井 井

井 井 井 井 井 井 井 井 井 井
井 井 井 井 井 井 井 井 井 井
井 井 井 井 井 井 井 井 井 井
井 井 井 井 井 井 井 井 井 井

井 井 井 井 井 井 井 井 井 井
井 井 井 井 井 井 井 井 井 井
井 井 井 井 井 井 井 井 井 井
井 井 井 井 井 井 井 井 井 井

万 万 万 万 万
あまの 万 万 万 万
あまの 万 万 万 万
あまの 万 万 万 万
あまの 万 万 万 万
あまの 万 万 万 万

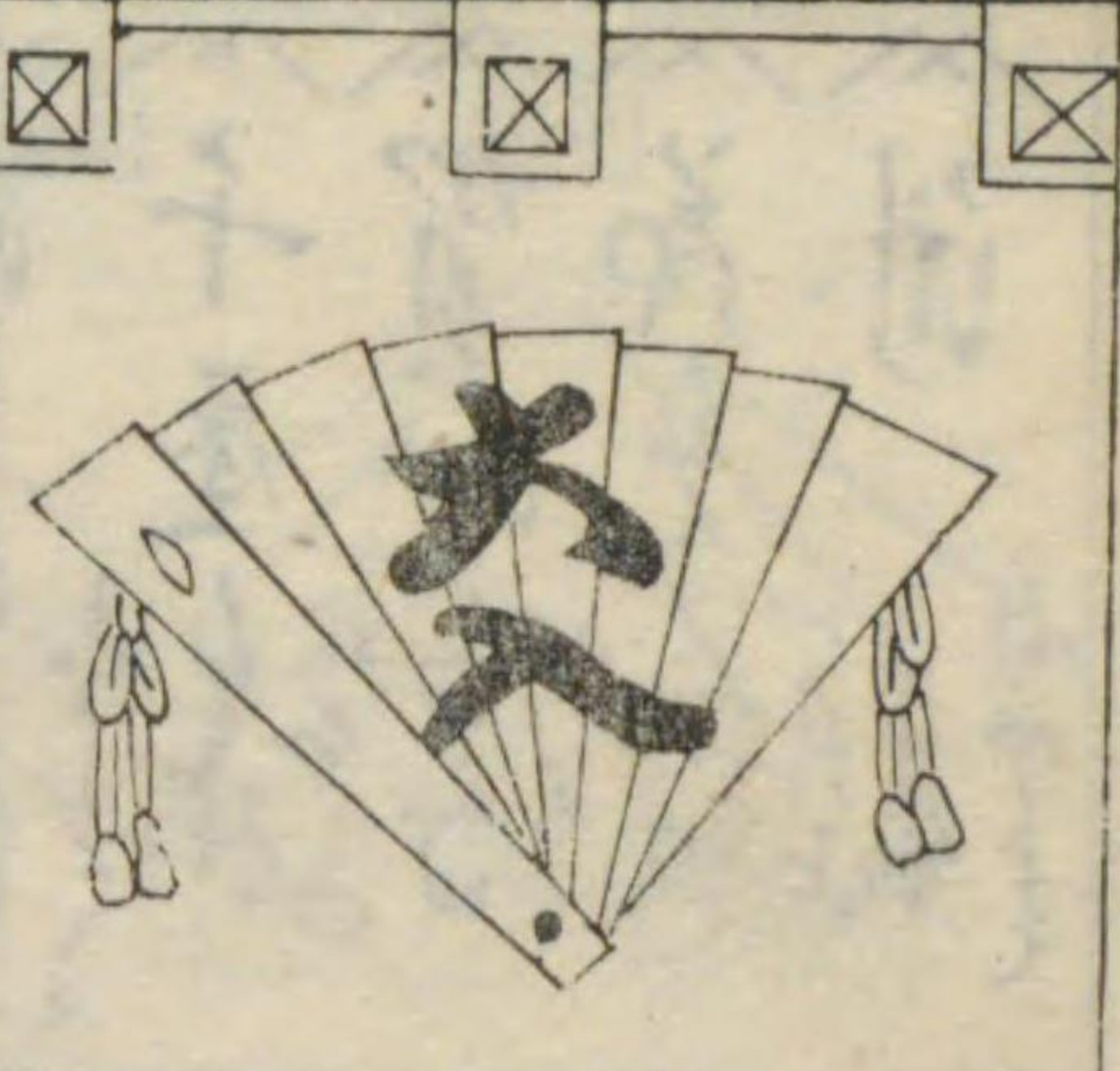


尾 尾 尾 尾 尾
あまの 尾 尾 尾 尾
あまの 尾 尾 尾 尾
あまの 尾 尾 尾 尾
あまの 尾 尾 尾 尾
あまの 尾 尾 尾 尾

てしや かん 居

あまの 居 居 居 居
あまの 居 居 居 居
あまの 居 居 居 居
あまの 居 居 居 居
あまの 居 居 居 居
あまの 居 居 居 居

秀 瑞 さん 森 老
あまの 秀 瑞 さん 森 老
あまの 秀 瑞 さん 森 老
あまの 秀 瑞 さん 森 老
あまの 秀 瑞 さん 森 老
あまの 秀 瑞 さん 森 老



勢 勢 勢 勢 勢
あまの 勢 勢 勢 勢
あまの 勢 勢 勢 勢
あまの 勢 勢 勢 勢
あまの 勢 勢 勢 勢
あまの 勢 勢 勢 勢

中 中 中 中 中
あまの 中 中 中 中
あまの 中 中 中 中
あまの 中 中 中 中
あまの 中 中 中 中
あまの 中 中 中 中

あまの 中 中 中 中
あまの 中 中 中 中
あまの 中 中 中 中
あまの 中 中 中 中
あまの 中 中 中 中
あまの 中 中 中 中

焔灯紋尽

男山 六 三 握々 壺 臺 三 未 廣

花 八 三 委 田 太 甲 四

未 堯 鳴 臺 壺 未 紅 梅 竹 葉

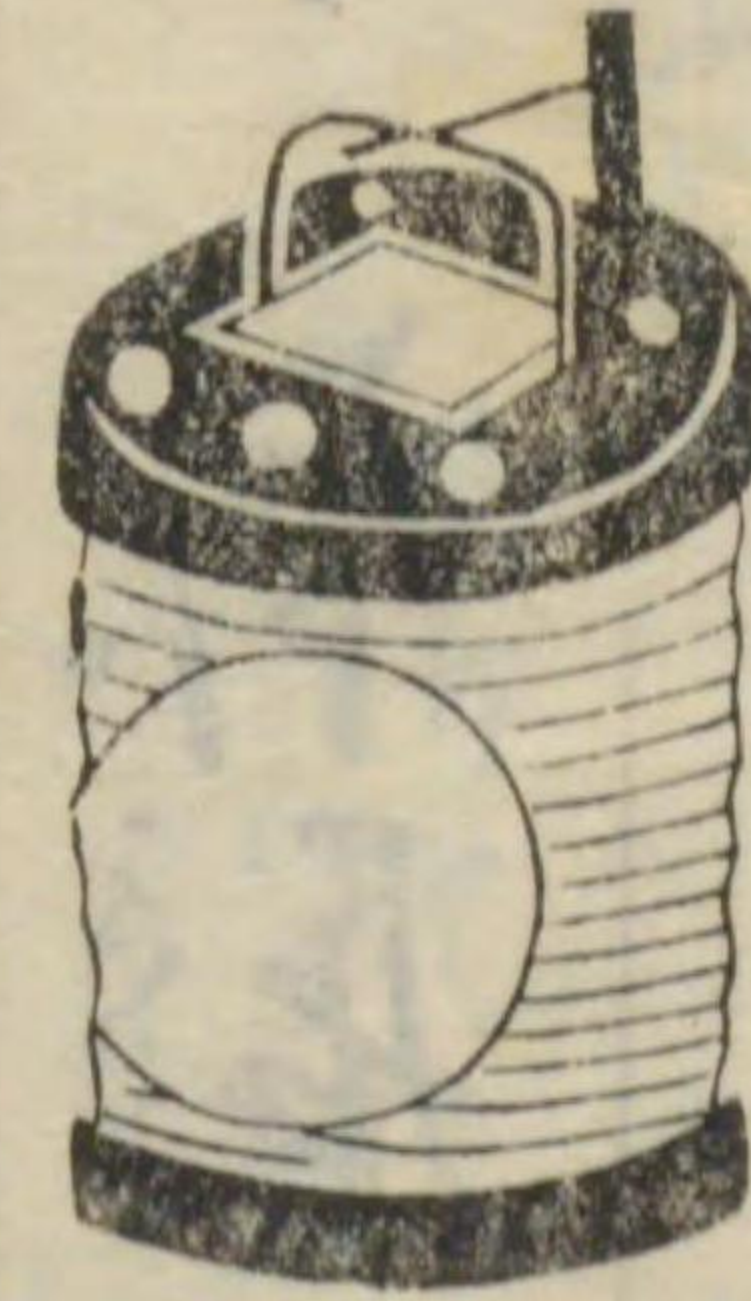
文字 松 花 錦 山 小 峯 三

土 鼻 上 養 米 外 谷 山 土 千

舍 舌 生 龜 井 壺 象 用 伊

井 千 全 力 亦 小

弓 弦 尾 山 上 峯 亦



百 姓 皆 愛 だ り 不

も せ 尾 び り 中 山

美 味 しい 後 へ へ

昔 々 事 介 金 持 ち

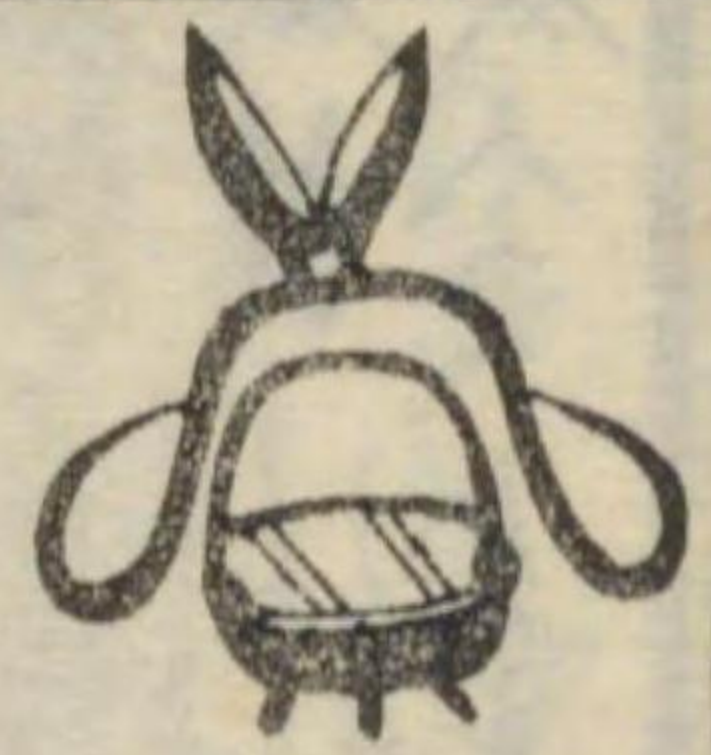
本 流 派 白 雲 々

ま ち 之 七

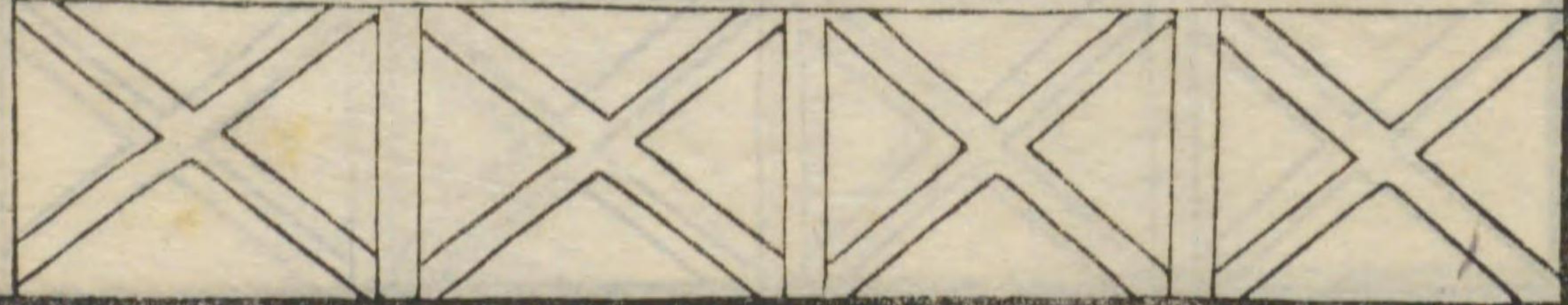
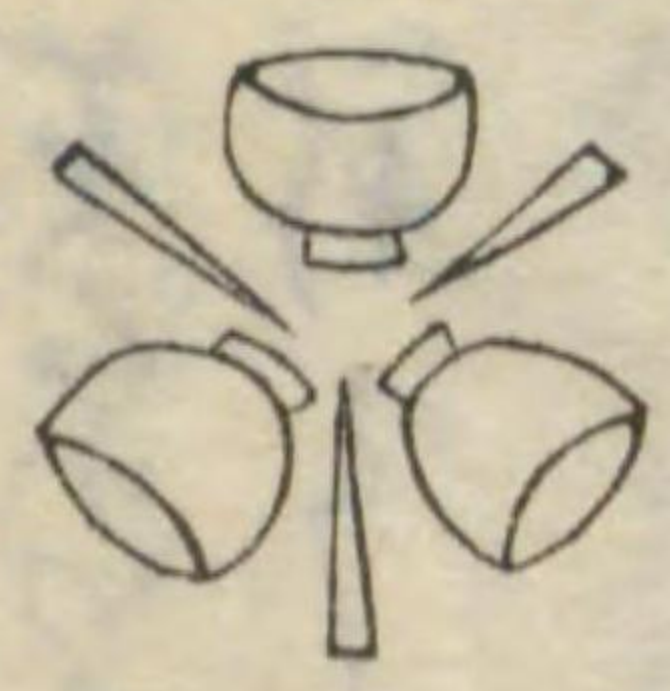
お に へ ち 中 へ て

流 毒 好 り む

み ぎ へ や 傳 六



光 好 しい けい けい けい
か ぬ けい けい けい
婦 人 けい けい けい
家 士 の 後 子 けい けい けい
愛 好 しい けい けい けい



亥宗のち 黒小糸 二つとく
 新らう くらま ありま
 さんま 楢 鹿 賣
 うね川 柳とす
 うね川 ちんた
 花川 かりそ
 かりそ せうが

尾のちや要次



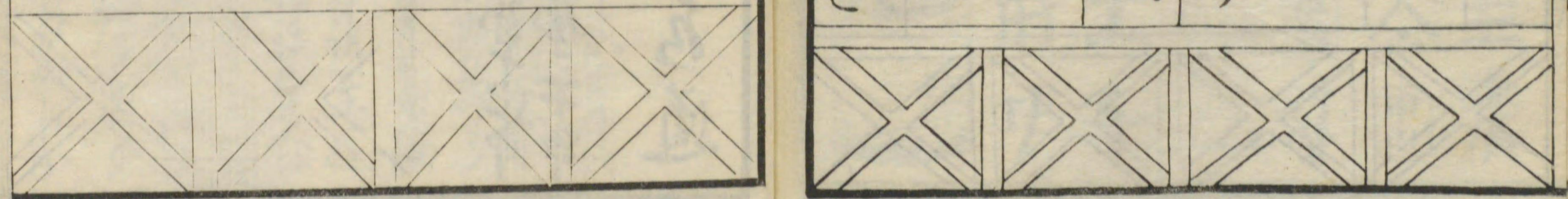
修子野 大にを 現まひ かりそ
 蝶 大にを 現まひ かりそ
 金 蝶 大にを 現まひ かりそ
 かりそ かりそ かりそ

りと馬 海うあやあ内

美人戸 心とら せんり
 梅 心とら せんり
 心とら せんり
 心とら せんり
 心とら せんり
 心とら せんり
 心とら せんり
 心とら せんり
 心とら せんり
 心とら せんり

りと馬 海うあやあ内

心とら せんり
 心とら せんり
 心とら せんり
 心とら せんり
 心とら せんり
 心とら せんり
 心とら せんり
 心とら せんり
 心とら せんり
 心とら せんり



あはれ

あはれや情義

宝 ぬ 祢

あはれや 情義

あはれや 情義

あはれや 初巻 門 巻

あはれや

人 形 派 生 維 吾

金 糸 如 干 市 而

あはれや

佐 礼 物 吾

師 乞 風 千 市 而

あはれや

醫 者 及 津 木 七 石

名 物

名 道

あはれや

あはれや 津 木 七 石 良

あはれや 津 木 七 石 良

一 私見世に依りて落るる日増甚良法雅有は合其存心
物類をいへばは入方よはは河井治安品は流がれ
とてあはれやとてとては香茶採花田甚揚ら
河東長嶺半之夏我夏者履夫と此會日ひ初編
あはれやとてあはれやのよ書は勢薄き佛法至は造
通之通のよ別別しく聞案の矣法雅雅結是之よ
妙心は新儀の趣向は法度中ひ先其の万ふとて
戯言のよ脚子は知識の中第究るる茶天と録は
よの言ふもか江戸は法度成ふ事と河感外ははつり
浄得意様方永ま日比中目長よおあはれや

極本此裁中載せし其厚以方様一書入
 以境の海地紋小大のり又重系りれハ
 白系系系のり其系とておのり片片其
 換極面白織上めと堅ハ紙のり其
 間口廣く老ゆり指の裏のりこ一ッ地生と
 獨り異系分お極戲能とを正月吉日
 賣出—中の大小のり一冊を換極と其流
 不坊か不坊水多のりとお重系り用は流
 以求以流流はり及紙又流系流もあ
 此吹極のりお極極奉希のり

甚野武本洋早
 吉川知能
 大寺の

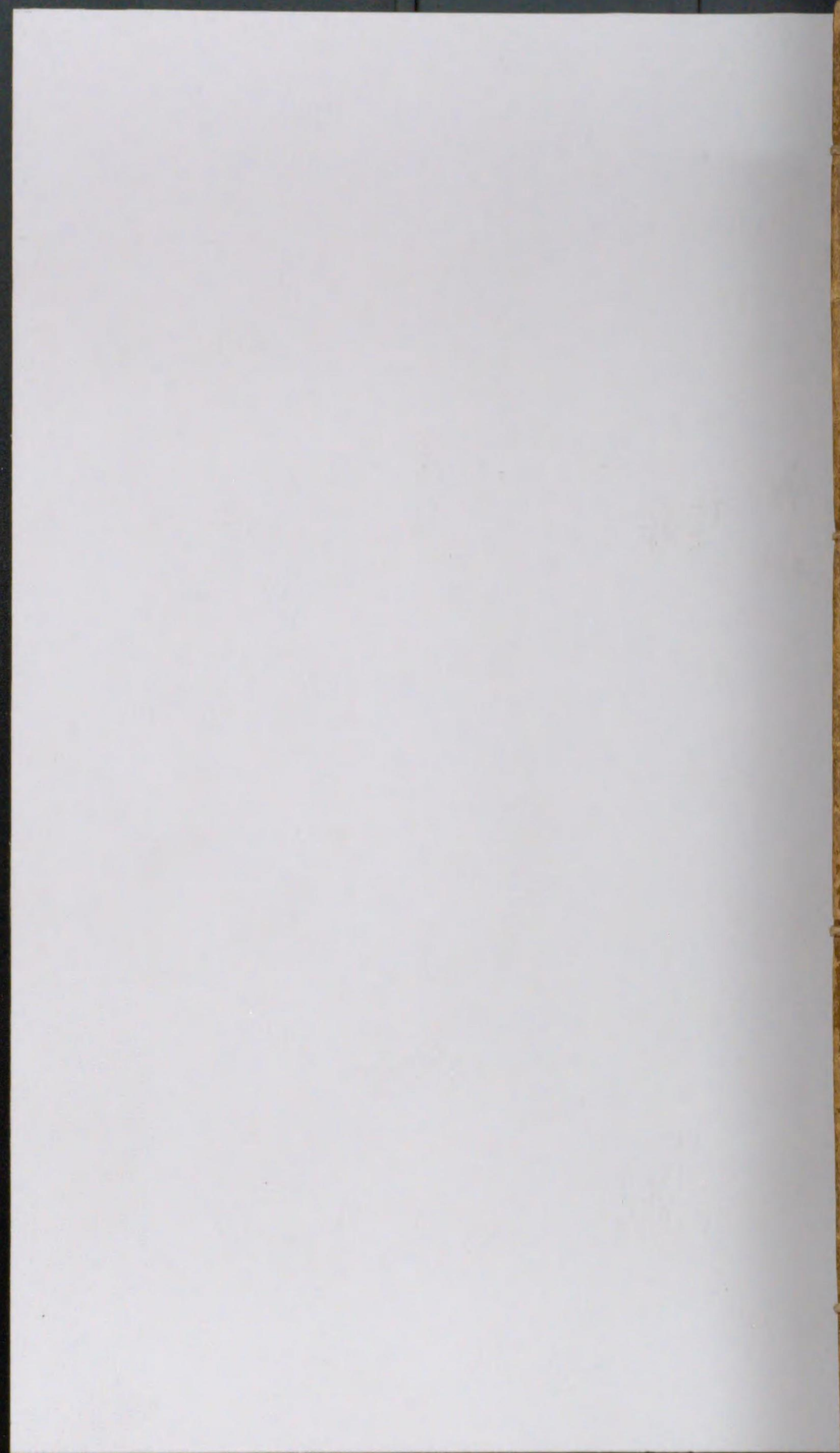
印行三百部之内
 第二號

大正十三年五月廿八日印刷
 大正十三年五月廿一日發行

第三期
 第十九回

編輯兼發行者 東京市牛込區富久町八十四番地
 山田清作
 影刻者 大塚祐次
 印刷者 阿部鍋五郎
 發行所 東京市牛込區富久町八十四番地
 米山堂
 電話 九段三四六一
 板橋東京三三五〇九

199
418



蘇

州

圖

志

府

志